

リリースノート：AJA Windows Plug-ins for Adobe v10.3

全般

初めてAJA製品を使う場合は、インストールCD内にある「Read Me First.PDF」を必ず確認してください。AJA Windows Plug-ins for Adobe v10.3は、KONAシリーズとIo Express/Io XTへの新機能の追加と既知問題への修正が行われています。

動作環境

- ・ QuickTime™ 7.6以上
- ・ Windows 7 64-bit
- ・ KONAシリーズ、Io Express、Io XT v10.3ドライバ、あるいはそれ以降
- ・ Premiere Pro CS6, AfterEffects CS6, Photoshop CS6, Prelude CS6, Encore CS6
(Premiere Proに関しては、最新バージョンへのアップデートを推奨します)

改善点

- ・ Adobeアプリケーションで使用されるAJAデバイスの主な機能は、AJAコントロールパネルによって制御されますが、いくつかの機能はAdobeアプリケーションで制御されます。詳細についてはAJA Adobeプラグインのマニュアルを参照してください。
- ・ Premiere Proのマルチカム出力機能を大幅に向上
- ・ Premiere Proにおいて、AJAハードウェアはAdobe Premiere Proのネイティブシーケンス プリセットを使用します。AJAのプリセットは使用しません。詳細についてはAJAのAdobeプラグインのマニュアルを参照してください。
- ・ Adobe Mercury EngineによるGPUエフェクト パフォーマンスを大幅に向上
- ・ Premiere Proの低解像度出力を大幅に改善
- ・ Mercury Engineのエフェクト効果は、AJAハードウェアのVideo出力にリアルタイムで反映されます。
- ・ GoPro CineFormライセンスが有効な場合、AJA キャプチャ プラグインによりCineForm .mov キャプチャが可能となります
- ・ RED .r3dファイルの再生パフォーマンスを大幅に向上
- ・ デバイスがオフラインであったり、制御できないデバイスが接続されている場合、Premiere Proのデバイスコントロールプラグインが警告を出します。
- ・ Premiere Proにおいて、AEからダイナミックリンクされたクリップをリアルタイム再生できない問題を修正
- ・ Premiere Proのソース/プログラムモニタの再生パフォーマンスを向上
- ・ Ki Proからのバッチキャプチャ機能を改善
- ・ Premiere ProにおけるKONA LHe PlusのVideoキャプチャ機能を修正
- ・ Premiere Proにおけるアップ/ダウン/クロスコンバージョンHDMI出力機能を修正

- ・ Premiere ProにおけるDPXキャプチャ機能を修正
- ・ Premiere Proにおける720P バッチキャプチャーの際、最初のクリップに起こる問題を修正
- ・ Premiere Proにおける長時間タイムライン再生時のメモリリーク問題を修正
- ・ PhotoshopとAfterEffectsからのVideo + Key出力機能を変更
- ・ Premiere ProにおいてRGB to YUVクリップがフラッシュする問題を修正
- ・ Premiere Proにおいてオーディオ無しでDVCPProHDキャプチャーする問題を修正
- ・ Premiere Proにおいて1440x1080iクリップが混在した際の問題を修正
- ・ Premiere ProにおいてRED .r3dファイルが正しくトリミングして出力されない問題を修正
- ・ Premiere ProにおいてYUV 2Kファイルを正しく出力しない問題を修正
- ・ 1080iのタイムラインから1080p23.98 DSLRクリップを出力した際の問題を修正
- ・ Premiere Proにおいて720p23.98ファイルを正しいレートで再生しない問題を修正
- ・ Premiere ProにおいてPALシーケンスのフィールド設定にあった誤りを修正
- ・ Premiere Proにおいて1080p30 DSLRクリップでクラッシュする問題を修正
- ・ Premiere ProにおけるKONA 3G HDMI出力の問題を修正

既知の問題と制限

- ・ システムのスリープは、KONAおよびIoデバイスで使用時にすべきことではありません。スリープモードをオペレーティングシステムの設定で無効にする必要があります。
- ・ Premiere Pro 6.0.0とAJA 10.3プラグインを組み合わせた場合、テープへの書き出し時にフレームが欠ける可能性があります。今後リリースされるPremiere Pro、あるいはAJAプラグインのアップデートにより更新されません。
- ・ Premiere Proからのオーディオ出力は、タイムラインをスクラブしながら'Play'コマンドを同時に行った場合、動作が停止することがあります。この問題を回避するには、デスクトップまたは別のアプリケーションなど、Premiere Proの外側をクリックした後、Premiere Proに戻ります。また、最新のAJAプラグインをインストールしていることを確認してください。
- ・ Premiere Proのクローズドキャプション出力機能は、このバージョンでは有効になっていません。
- ・ Premiere Proで音声出力の設定の詳細については、AJAのAdobeプラグインのマニュアルを参照してください。
- ・ Io Expressを、Bootcamp+Windowsを使用してMacBook Pro 8,2またはそれ以前のバージョンで使用することは推奨されていません。Io Expressは、Mac Pro、またはMacBook Pro8,3上で動作するBootcamp +Windowsで動作します。
- ・ クラッシュキャプチャにおいて、RS-422 タイムコードをキャプチャすることは出来ません。
- ・ VFRにブルダウンが追加された場合、タイムコードは調整されません
- ・ HD-SDI経由のクラッシュキャプチャおよびプリントにおいてVaricamフレームレートでの動作は可能ですが、インサート編集やイン・アウト点を指定してのキャプチャやバッチキャプチャは行えません。
- ・ パナソニック社製のデッキにインサート編集を掛ける際、正しく編集を行えない場合があります。この問題を回避するためには、メニュー項目202"ID SEL"が"OTHER"に設定されていることを確認してください。